

を煮ると、繭から糸が良く離れるので都合が良く「糸沢」の名がついた。

【羽田鳥合内から羽田羽山へ】

国道一一四号線十二社から、県道月館・川俣線に入り八幡の十字路を直進し、約四百メートルほど進むと鳥合内集落が右のほうに見えてくる。ここから右手（東方）の町道鳥合内・こや古屋下線に入って集落が切れたあたりでY字路になる。この上部には戦国時代に戦士が立てこもって、見張りをした館山跡が見られる。羽田羽山へはここを右に進むが、左に約百五十メートル進むと左下に不動尊が祀られている。さらに約二百メートル進むと明治ころ採掘していた金山の坑道跡を目にすることができる。

Y字路から右にしばらく進むと右側に休耕田が見えてくる。そのまま休耕田に沿って歩くこと三十分ほどで月館町古屋との境に着く。ここから右折して南の方へ尾根伝いに二十五分くらい進むと花崗岩で積まれた羽山神社にたどり着く。

また、羽山神社の手前約五十メートルを右寄りに降りたところに、金剛山・古峰山・加蘇山神社の石塔が祀られている。

るので見てみたい。

生活の中の小神麓山

羽黒山権現

小神麓山の山頂にある社は、福島市信夫山の羽黒山を移した社であり、女人禁制の山であった。祭礼は旧暦三月二十八日である。（信達一統誌）



キキョウ